

## Contents

Topics! 全日本大学対抗選手権大会のご案内  
松本潮霞先輩世界選手権出場!

1. インカレに向けて主将抱負
2. 夏合宿を終えて
3. 第59回早慶定期戦結果
4. 競技会成績
5. 訃報
6. 早稲田スポーツフェスタin東伏見を終えて
7. トレーナーの取り組みについて
8. リレー寄稿 あの先輩はいま
9. 第26回バーベル会を開催
10. 記念資料収集について

東日本インカレのC&J競技でジュニア日本新(171kg)を  
挙げた生頼永人選手(スポーツ科学部2年) →



## Topics!

### 全日本大学対抗選手権大会のご案内

今年度のインカレ(第61回全日本大学対抗選手権大会・第16回全日本大学対抗女子選手権大会)が以下のとおり開催されます。ぜひご来場いただき、ご声援くださいますようお願い申し上げます。

期日: 12月18日(金) ~ 20日(日)

会場: 〒362-0031 埼玉県立スポーツ総合センター(埼玉県上尾市東町3-1679)

JR高崎線「上尾駅」東口よりタクシー10分/徒歩25分

または上尾市内循環バス「スポーツ研修センター」下車徒歩3分

### 松本潮霞先輩世界選手権出場!

11月20日~28日、アメリカのヒューストンで世界選手権が開催され、松本潮霞先輩(H26卒)が日本代表選手として出場しました。出場に際し、松本先輩からコメントをいただいておりますのでご紹介します。

このたび、世界選手権女子63kg級に出場させていただきます松本潮霞です。現在はALSOKウエイトリフティング部で活動しておりますが、卒業後も早稲田大学の体育館で日々学生に刺激をもらいながら練習させていただいています。

昨年は、社会人で競技を続けるという立場、責任に戸惑い悩むことも多くありました。そして今年、社会人リフター2年生。初めての世界選手権、オリンピックの枠取りと世界の壁はまだ厚いと感じていますが、日頃支えてくださる皆さまへの感謝を胸に、早稲田代表として来年の創部60周年に向けて良いご報告ができるよう戦って参ります。応援よろしくお祈りします。

競技の結果は S90kg (19位)、C&J113kg (21位)、Total203kg (19位) でした。

## インカレに向けて主将抱負

全日本インカレまで残すところあとわずかとなりました。部員全員がインカレを意識しており、練習の雰囲気など日に日に緊張感が増しているのを感じています。現状は怪我に悩まされている選手もあり、万全とは言えませんが、今の部員の団結力とインカレに対する強い気持ちがあれば、大会では100%の力を発揮できると思います。

私はこの1年間、主将としてウエイトリフティング部を引っ張ってきたつもりですが、なかなかうまくいかないところもあり、迷惑をかけたところもあると思います。ですが、最後は個人で優勝しインカレで部を最高の結果に導くという主将としての務めを果たしたいです。

2年前には1点差で2部に降格するという悔しい思いがあり、そこから昨年度には過去最高得点で2部インカレ優勝という最高のバトンを受け継いでいます。この勢いに乗り、部員全員団結し、目標である全日本インカレ3位入賞を目指します。

主将 梶田大和（スポーツ科学部4年）

いよいよインカレまで残り1か月を切りました。私にとっては最後のインカレになります。今年は基礎的な体力や筋力をつけるため、地道なトレーニングを長い期間をかけてメンバー全員で行ってきました。その成果もあり、みんなの体がひとまわり大きくなり、夏から秋にかけてたくさんの新記録を出すことができました。

しかし、夏の疲れもあってか、怪我をする選手が増え、モチベーションが下がってしまう傾向にありました。それでも、一人一人が自分の怪我を見直し、リハビリやトレーニングに励むことで、少しずつ立ち直り、インカレへのモチベーションが戻ってきました。

今年のインカレでは、全員で万全の状態で臨むことは難しくなりましたが、最後まで諦めず、チーム一丸となって戦います。私自身は女子主将として、皆が笑顔で終われるようにチームを引っ張り、確実に入賞できるよう最後まで頑張ります。応援よろしくをお願いします。

女子主将 小町史華（スポーツ科学部4年）

## 夏合宿を終えて

今年の夏合宿は私の母校である兵庫県立明石北高等学校で行われました。過去3年間は新潟県津南町での夏合宿でしたが、4年生のうち3人が兵庫県出身ということや部員に関西出身者が多いこともあり、今年は初めて兵庫県で合宿を行いました。練習は午前・午後の二部練習を行い、秋からのシーズンに向けた夏の力付けを十分に行いました。私自身も補強種目で自己新を取ることができ、非常に充実した練習ができました。

オフの日には複数のグループに分かれ、兵庫県内へ観光に行きました。私たちのグループは世界遺産の姫路城を見に行き、兵庫県の魅力を存分に感じました。また、一週間部員が一緒に過ごすことで一層団結力が高まり、早慶戦、全日本大学対抗戦に向けての思いが強くなりました。

西日本での合宿ということで普段はなかなかお会いすることができない先輩方や、部員のご家族の方とお会いし、私たちが頑張っているところをご覧いただくことができました。

また、今回の合宿は例年よりも多くの方の協力があり、無事に終わることができました。宿泊から練習まで手配していただいた明石北高校の生頼先生をはじめ、兵庫県の先生方には本当にお世話になりました。お世話になった皆さま、本当にありがとうございました。

松本浩志（スポーツ科学部4年）



# 第59回早慶定期戦結果

10月11日、早稲田キャンパス体育館において、第59回早慶ウエイトリフティング定期戦が開催されました。菅野真央君（社会学4年）が+94kg級でスナッチ140kgとトータル306kgの大会新記録をマークし大会を盛り上げました。団体戦は早稲田131点：慶應100点で早稲田大学が勝利し、連勝記録を52に伸ばしました。試合後には懇親会が開かれ、両校の健闘を称え親睦を深めました。

## 第58回 早慶ウエイトリフティング定期戦

	56	62	69	77	85	94	+94	合計	順位
<b>W</b>	<b>9</b>	<b>18</b>	<b>24</b>	<b>24</b>	<b>15</b>	<b>17</b>	<b>24</b>	<b>131</b>	<b>1</b>
<b>K</b>	<b>24</b>	<b>15</b>	<b>9</b>	<b>9</b>	<b>18</b>	<b>16</b>	<b>9</b>	<b>100</b>	<b>2</b>

今大会は早稲田大学が当番校であり、私が学生として参加する最後の早慶戦となりました。早慶戦には去年と今年の2回出場させていただき、昨年の第58回大会では+94kg級にてスナッチ競技131kgの大会新記録、今回の第59回大会ではスナッチ競技140kgとトータルにおいて306kgの大会新記録を樹立することが出来ました。伝統の早慶戦で大会記録を樹立出来たことも光栄ですが、その中でもスナッチ140kgという記録は長い歴史において私一人しかいないということを大変誇りに思います。

4年間早慶戦を経験しましたが、早慶戦では両校の先輩方も多く観戦に来られ応援席の盛り上がりもすごく、そのなかでこの早慶戦の歴史や重みを感じました。来年からは私もOBの1人として応援に参加したいと思います。

最後になりますが、今大会の開催に当たりご尽力いただきました皆さまに心から感謝いたします。

菅野真央（社会科学部4年）



(+94kg級で大会新記録の140kgをスナッチする菅野選手)

## 競技会成績

### 2015年度 第43回東日本大学対抗ウエイトリフティング選手権大会

7月4日～7月5日 場所：上尾市スポーツ総合センター

階級	選手名	学部 学年	体重	BEST						TOTAL			合 点
				S	順位	得点	J	順位	得点	記録	順位	得点	
M56kg級	知念勇斗	ス1	55.66	97	3	6	121	2	7	218	2	7	18
M62kg級	森川芳樹	ス2	60.92	102	5	4	135	2	7	237	2	7	18
	千葉健介	社2	61.58	104	4	5	0	-	0	0	-	0	5
M69kg級	生頼永人	ス2	68.70	125	2	7	171	1	8	296	優勝	8	23
M77kg級	生頼佑馬	ス4	72.32	117	6	3	151	3	6	268	5	4	13
M85kg級	梶田大和	ス4	81.34	125	5	4	145	8	1	270	7	2	7
M105kg級	菅野真央	社4	104.98	145	1	8	174	2	7	319	2	7	22
M+105kg級	武田健	ス3	114.96	115	9	-	167	5	4	282	6	3	7

### 男子団体で3位入賞！

インカレへ向け順調に仕上がっています。男子69kg級では生頼永人選手（スポ科2年）がジャークでジュニア日本新記録を樹立し優勝しました。

左：生頼佑馬選手（スポ科4年）  
右：森川芳樹選手（スポ科2年）



# 競技会成績

2015年度 第39回東日本学生ウエイトリフティング選手権大会

2015年度 第12回東日本学生新人ウエイトリフティング選手権大会

9月11日～13日 場所：日大生物資源科学部体育館

階級	選手名	学部 学年	体重	BEST				TOTAL	
				S	順位	J	順位	記録	順位
M77kg級	松本浩志	ス4	75.38	115	4	143	5	258	3
W58kg級	内門沙綾	ス2	57.22	71	1	-	-	-	-
W63kg級	野本なつみ	ス3	62.08	68	1	85	1	153	優勝
W69kg級	小町史華	ス4	66.16	70	1	85	1	155	優勝

階級	選手名	学部 学年	体重	BEST				TOTAL	
				S	順位	J	順位	記録	順位
M69kg級	大原魁斗	社1	64.02	87	6	113	6	200	6
M77kg級	永迫竜矢	ス1	75.26	112	2	138	2	250	2
M105kg級	池田祐介	社1	102.34	119	2	142	5	261	3

2015年度 第60回全日本学生ウエイトリフティング新人選手権大会

10月23日～25日 場所：上尾市スポーツ総合センター

階級	選手名	学部 学年	体重	BEST				TOTAL	
				S	順位	J	順位	記録	順位
M56kg級	知念勇斗	ス1	55.56	95	1	126	2	221	2
M69kg級	大原魁斗	社1	64.18	90	10	121	8	211	9
M77kg級	永迫竜矢	ス1	77.00	119	2	135	5	254	3
M85kg級	神田悠斗	社1	84.24	98	18	128	13	226	16
M105kg級	池田祐介	社1	102.68	118	4	140	8	258	5
W75kg級	田中季恵	ス1	74.20	68	2	88	1	156	2

今年は4名の部員が国際大会へ出場しました。年々国際大会で活躍する部員が増えています。引き続き皆さまのご支援、ご声援をお願いいたします。

日中韓インターナショナルフレンドシップトーナメント

6月10日～11日 場所：大韓民国慶尚南道固城郡

階級	選手名	学部	BEST		TOTAL
		学年	S	J	記録
M105kg級	菅野真央	社4	135	170	305
W69kg級	高岸冨佳	H.27卒	83	104	187

世界ジュニア選手権

6月6日～13日 場所：ポーランド共和国ヴカザン市

階級	選手名	学部	BEST				TOTAL	
		学年	S	順位	J	順位	記録	順位
M56kg級	知念勇斗	ス1	93	9	123	9	216	9
W48kg級	安嶋千晶	ス1	68	9	87	7	155	10
W69kg級	柏木麻希	ス1	86	4	106	4	192	4

2015年第75回全日本ウエイトリフティング選手権大会  
 2015年第29回全日本女子ウエイトリフティング選手権大会  
 2015年6月12日～14日 場所: 福島県いわき市立総合体育館

階級	選手名	学部	BEST				TOTAL	
		学年	S	順位	J	順位	記録	順位
M62kg級	黒江雄治	H.22卒	105	10	135	8	240	8
M69kg級	生頼永人	ス2	125	4	170	3	295	2
	大塚一樹	H.24卒	125	3	150	5	275	4
M77kg級	安達貴弘	H.25卒	131	5	165	4	296	5
M85kg級	梶田大和	ス4	121	6	140	6	261	5
W63kg級	松本潮霞	H.26卒	93	1	113	2	206	優勝
	見附絵莉	H.27卒	84	3	101	4	185	4
W69kg級	吉野千枝里	H.25卒	87	2	105	2	192	2

2015年第5回全国都道府県対抗女子ウエイトリフティング選手権大会  
 2015年9月5日～9月6日 場所: 金沢市いしかわ総合スポーツセンター

階級	選手名	都道府県	学部	BEST				TOTAL	
			学年	S	順位	J	順位	記録	順位
W58kg級	内門沙綾	宮崎	ス2	72	7	95	2	167	3
W69kg級	吉野千枝里	東京	H.25卒	88	2	111	1	199	優勝
	柏木麻希	京都	ス1	89	1	109	2	198	2
	高岸冴佳	東京	H.27卒	84	3	105	3	189	3

第70回国民体育大会ウエイトリフティング競技  
 2015年9月27日～10月1日 場所: 和歌山市 片男波公園健康館

階級	選手名	都道府県	学部	BEST				TOTAL	
			学年	S	順位	J	順位	記録	順位
M69kg級	生頼永人	兵庫	ス2	129	4	170	1	299	3
	大塚一樹	香川	H.24卒	126	5	155	7	281	7
M77kg級	田原英一郎	島根	H.19卒	90	15	115	16	215	15
M85kg級	武井誠一郎	山梨	H.24卒	139	4	170	2	309	2
	三浦宏也	茨城	H.25卒	120	17	155	9	275	11
M+105kg級	菅野真央	福島	社4	141	7	176	7	317	8

## 訃報

10月30日、当クラブ会長・鈴木靖二先輩（S43卒）が永眠されました。永年にわたる早稲田大学ウエイトリフティング部ならびに当クラブ運営へのご尽力に対し心から感謝申し上げるとともに、ご冥福をお祈りし、謹んでお知らせいたします。

なお、稲門ウエイトリフティングクラブ運営につきましては来年3月の定時総会までの間、引き続き志田典明副会長（S51卒）が会長職務を代行する体制を継続してまいりますので会員の皆さまにはどうかご心配のないようお願いいたします。



## 早稲田スポーツフェスタin東伏見を終えて

9月21日（月・敬老の日）、競技スポーツセンター体育各部実行委員会主催のスポーツフェスタが東伏見キャンパスにて行われました。スポーツフェスタは早稲田スポーツファンの皆さまや東伏見近隣の皆さまに感謝の気持ちを込めて行うイベントで、今年で4回目を迎えました。ウエイトリフティング部としては1年ぶり3回目の参加となり、今年も一昨年に引き続きウエイトリフティングの体験企画を行いました。

部員によるデモンストレーションもウエイトリフティングの体験も大変好評で、多くのお客さまに参加していただきました。部員にとって小さな子ども達にウエイトリフティングを教えるという機会にはほかにはないので、皆終始子ども達に癒されながら楽しむことができました。部員の協力のおかげもあり、怪我などのアクシデントもなく大盛況のうち午前・午後の2回の企画を終了しました。

スポーツフェスタを通していつも応援してくださる早稲田スポーツファンの方々や東伏見近隣の皆さまに少しでも恩返しをすることができたのであれば幸いです。今後もこのような機会を大切にしていきたいと思えます。

主務 高橋まどか（人間科学部3年）



## トレーナー活動の取り組みについて

私たち学生トレーナーは傷害の対応が主な役割です。練習中の痛みの相談から試合中などに発生する急な怪我まで幅広く確実な対応が求められています。万が一怪我が発生してしまった時にどのような救急処置をとるか、病院にはどのような方法で搬送するかなど対応計画をたてて緊急事態に備えています。

普段の練習ではウォーミングアップを考案し、傷害予防、さらに競技力向上に繋がるよう努めています。インカレ前にはインフルエンザの予防接種を促すなど、体調面の管理にも関わっていきます。

様々なことに学生トレーナーは取り組んでいますが、肝心なことは選手本人の頑張りです。私たちはそれをいかにして引き出すか、いかにして高めるかを念頭に置き活動しています。

インカレも近づいてまいりました。主役である選手にスポットライトをあてる裏方として、誇りをもって励んでいきます。

春田賢秀（スポーツ科学部3年）



## 田口薫先輩『旭日小綬章』を受章

平成27年春の叙勲において、昭和42年卒・田口薫先輩（現・全国グラビア協同組合連合会理事長）が、印刷産業振興功勞により旭日小綬章を受章されました。一同心よりお祝い申し上げます。  
田口先輩より大学時代を振り返っての手記をお寄せいただきましたのでご紹介させていただきます。

## 旭日小綬章を頂いて

平成27年5月12日、午前中に芝公園のプリンスホテルに集合し礼服（モーニング）と色留袖を着用後、家内同伴で経済産業大臣より勲章と勲記の伝達を受け、昼食後、皇居新宮殿へ移動し、天皇陛下の御前にてお言葉を賜りました。今回は春の勲章・褒章で、全国の4,000人が世のため人のために尽くしたとして表彰されました。

## 『セカンドチャレンジ』・念ずれば花ひらく

私は何をやっても不器用で役に立たない子供で、ボール投げも女の子に負ける有り様で運動嫌いでした。小中学校の勉強はままずでしたが、高校はレベルが高すぎ、0点をとり続けてやっと卒業しました。受験勉強は嫌いで希望校はすべて落ち、やっと早稲田に入りましたが授業の内容が考えていたものと異なり、頭脳労働ではやって行けない、肉体労働でも食べられるようにとウエイトリフティングで肉体改造を目指しました。しかし、いきなり細い骨に重量を掛けたので体を痛めてしまいました。それでも何とかレギュラーにと無理をして、全日本新人戦で7位に入りました。

インカレ、個人戦、早慶戦の4試合に出ましたが、とうとう脊椎分離すべり症となって選手をクビになり、夢は頓挫しました。そのころ大学紛争が起きて授業が行われなくなり、仕方なく設立したばかりの大日本パッケージで手伝いをしました。仕事が殆ど無く、たまに印刷機を回してもロス如山。印刷を覚えてロスを止めろと言われたが全然うまくいかない。現場もクビになり、仕事をとってこいと言われ、何の知識も無く歩き回っても何の注文もとれず、「石の上にも3年」とやっているうちに大きな注文をとり、8割方自分の仕事で工場を回すようになった。私のような者でも先輩の言う事も聞いて一筋にやっていたらこんな事もある。

つまり、『セカンドチャレンジ』失敗しても高い目標に向かって挑戦する。そして「二足のわらじを履く」。18歳の時に入部式で言われた「オリンピックに出よ。そして学業にも精励し、社会に出れば一流の人物となれ」、全く当時の自分とはかけ離れていたが、今もその言葉を思い出す。

高い目標には届かないが、日々努力すれば何らかの結果は得られると思います。

田口薫（S42卒）



## 第26回バーベル会を開催

10月7日、茨城県のJGMやさと石岡ゴルフクラブにて第26回バーベル会（早慶重量拳OB親睦ゴルフ会）が開催されました。当日は朝から快晴で気温も20度近くまで上がり、半袖のポロシャツ1枚で清々しくプレーすることができました。

慶應重量拳三田会から12名、稲門探球会から10名、計22名がエントリーし6組でのラウンド。競技方法は恒例のOKパットなしの完全ホールアウト方式で、両校グロス上位5名の合計による団体戦、新ペリア方式による個人戦とで争われました。

プレー終了後に表彰式・懇親会が行われ、団体戦は慶應476ストロークに対し早稲田486ストローク。10ストローク差で慶應が勝利し、通算成績は早稲田14勝、慶應12勝となりました。個人戦は校友として参加していただいた尾崎光郎氏（S44卒）がネット72.2で優勝。藤田和雄先輩（S44卒）が準優勝に輝きました。

盛会は、翌週の早慶ウェイトリフティング定期戦応援への参加と次回バーベル会での再会を期してお開きとなりました。

なお、バーベル会・探球会では新規メンバーを募集しています。腕に自信のある方、ブランクを経て再開された方、まだ始めたばかりの方もぜひご参加ください。

野中弘一（H01卒）



## 記念資料収集について

既にご案内のことと思いますが、今年7月から戸山キャンパス記念会堂の老朽化に伴う建て替え工事が始まりました。新しい記念会堂は、スポーツ施設のほか学習スペースやラウンジを兼ね備えた多機能型スポーツアリーナとして2019年3月に完成の予定です。

このスポーツアリーナに、日本のスポーツ発展に貢献した早稲田大学出身者の関係品を展示する「早稲田スポーツミュージアム」（仮称）を併設することが計画されており、現在、競技スポーツセンター44部のOB会組織からなる稲門体育会が中心となって記念資料の収集を進めています。ミュージアムの内容や管理運営方法、記念資料の収集期限など詳細は未定ですが、貴重な関係品が廃棄されたり所在不明になる前に収集作業をとのことで、当クラブにも依頼がありましたのでお知らせします。

### まずは「情報」をお寄せください！

早稲田大学ウェイトリフティング部活動の関係品をお持ちの方、あるいは所在に関する情報など、まずはご一報ください。

#### 【資料として想定している物品】

- (1) トロフィー・メダル・賞状
  - (2) ユニフォーム、部活動で使用していた道具類
  - (3) 手帳・ノート（練習日誌等）、書簡
  - (4) 写真・アルバム、ビデオ
  - (5) 周年記念誌・創部関係資料
- ※ 資料として価値のあるものかどうか、受け入れ可否等については「大学史資料センター」が判断します。

#### 【連絡方法】

関係品の内容・数量・大きさ、所在等の情報を電話または電子メールにてお知らせください。

連絡先： 記念資料収集担当 野中弘一（H01卒）  
電話/SMS \*\*\*-\*\*\*\*-\*\*\*\*

E-mail twc@coffee.ocn.ne.jp

期限： 1回目の期限は、2016年2月29日までとさせていただきます。

#### 【その他】

創部60周年の取り組みとしても資料の収集を検討中です。企画がまとまりましたらまたお知らせします。